



E1 Eco

(エル・エコー) 発行者 宮本 歩

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～ 足利市立西中学校 62-2230

令和2年度学校課題：自他を尊重し、互いに高め合う生徒の育成

表題 日 Ecoについて；スペイン語で「こだま」という意味です。先生・生徒 学校・家庭（地域）お互いの気持ちが「こだま」しあうような学校を目指したいと考えております。

2学期が始まり、早くも1ヶ月以上が過ぎました。この間に、新型コロナウイルス感染拡大によって心配をおかけいたしました。修学旅行や1年生の日光遠足など、無事に終了することができました。これもひとえにご家庭でのご協力のたまものと感謝いたしております。

足利市教育長の若井祐平先生の強力な後押しもあり、教育委員会の皆様に京都市産業観光局や下京警察署、奈良市観光局、日光市等との綿密な情報交換・収集を行っていただき、西中学校としての行事実施に向けた判断に、大変大きな勇気を与えていただきました。

今年度の新型コロナウイルス感染症対策において、ご家庭、生徒には大変な心労とご協力をいただいていることはもちろんですが、修学旅行・遠足の実施に際してもご家庭内で参加・不参加の話し合いや、判断を行っていただきました。参加生徒と不参加の生徒、ほかにも人と人の関係が分断される危険性が大変高いことを、最も危惧しておりました。しかし、生徒たちの様子を見ると、皆で取り組むことのできる今後の行事；体育祭や、合唱コンクールに向けて力強く前進してくれている様子が伺え安心しております。

学級活動の時間が例年より少ない中で、実施に向けて動き出す大きな行事ですので、これから先も様々な困難が発生することと思いますが、全てを今後の中学校生活の糧として生徒たちが、成長していけるように指導したいと考えますので、更なるご協力を、よろしくお願いいたします。

9月9日（水）～11日（金）3年生修学旅行

日本旅行栃木支店、同京都営業所、京都新阪急ホテル他、各交通機関のなどの厳重な新型コロナウイルス感染症対策や、サポート態勢もありましたが、刻々と変化する状況下で学年職員が、臨機応変に修学旅行の日程・計画を事前に変更したこともあり、それぞれの見学場所で、例年には考えられないほど人出が少ない状況の中で、安心感を持って全ての予定をこなすことができたと思います。今回改めて、一つの大きな行事を実施するためには、多くの皆様の協力が必要であることを実感しました。



↑東京駅（行き）東海道新幹線接続待ちの様子
奈良東大寺大仏殿の如意輪観音見学→
西中生以外、一般のお客様がとても少ない状態でした。



—裏面に続く—

9月9日（水）1年生日光遠足

小学校5年生で経験した、日光の遠足ですが、今回6月に予定していた東京での班別自主研修を変更して、9月に日光遠足を実施しました。

当初の段階では、「行ったことのある日光なんてつまらない」と考えていた生徒も多かったようですが、班ごとに行動計画を立て、それぞれの学習目標を持って行う日光遠足で、「小学校の時とは違う日光を発見できた」と感想を述べてくれた生徒が多く見られた様子です。

天候にも恵まれて、青空の下でハイキングを行い、日光東照宮周辺での班別行動終了の頃に天候が崩れたそうです。ラッキーな面もあり充実した研修になったようです。



↑小田代原ハイキング



↑東照宮陽明門 班別行動

9月19日（土）～ 1・2年生の部活動で、新人大会に代わる交流試合が始まりました。

新人大会県大会の中止を受けて、7月より実施の方法を検討して参りました新人大会地区予選会は、コロナウイルス感染症の再拡大と、猛暑で部活動が行えない日が多かったことが重なり、生徒の体調面、大会に向けて準備の状況等を考慮して、当初の計画日程での実施を断念しました。各部活動の状況に合わせ、19日から徐々に交流試合等を実施していきます。

部活動によっては、国内競技団体の競技実施規則に則り、11月に実施を予定している部活動や、今回の交流試合の中止を決定した部活動もありますが、ご協力をお願いいたします。

水泳部、ソフトテニス部、野球部、バレーボール部が、19日（土）に試合を行いました。今年度初めて試合に参加する1年生を引率した2年生が、先輩としての責任感を持って大会に臨んでくれました。



↑女子ソフトテニス部
対坂西中



野球部 →
対協和中

2学期に入り、学習指導員の先生方が、配置されました。

コロナウイルス感染症対策での、休業措置が学習の遅れに繋がらないように、新開^{しんかい}輝^{ひかる}先生、芝崎^{しばさきひろき}紘生先生の2名が1年生・2年生・特別支援学級（みどりの風教室）の授業を中心に、授業の補助をしてくれています。授業中に解らないことや、聞き漏らした説明などがあった場合、主担当の先生の他に、教室内の生徒近くに待機して優しく対応してくれています。

是非生徒のみなさんも、遠慮なく質問や相談をして欲しいと思います。新開先生は西中の卒業生、芝崎先生は校長の愛宕台中での教え子です。よろしくお願ひします。